



松岡農相が自殺

布ひもで首つり

赤坂の議員宿舎で

二十八日午後零時二十分ごろ、東京都港区赤坂二丁目の議員宿舎で、松岡利勝農相(62)が首つり



自殺を図り、意識不明となっていたのが見つかった。都内の慶応大学病院に搬送されたが、警視庁によると、発見時は心肺停止の状態。午後二時、死亡した。自殺の経緯については、安倍政権への影響も予想される。

警視庁によると、松岡農相は宿舎のリビングで布製のひもで首をつって自死を図ったとの報道を受け、塩崎恭久官房長官は記者会見。事実関係を確認した上で「特にコメントすることはない」と述べた。

松岡農相をめぐっては、農水省所管の独立行政法人「緑資源機構」の談合事件に絡み、同機構の事業を受注した熊本県内の業者から、資金管理団体などに献金を受けていたことが判明していた。

また、全国から約百三十億円を集め福岡県警に出資法違反容疑で家宅捜索を受けた「エフ・エー・シー」の関連団体「WBEF」のNPO法人認証をめぐる、秘書が内閣府に審査状況を照会したり、WBEFから百万円分の政治資金パーティー券を購入してもらったりしていたのに、政治資金収支報告書に記載していなかった。



緑資源機構の談合事件についてコメントする松岡農相。24日、農水省



松岡農相が自殺を図った衆院赤坂議員宿舎前に詰めかけた報道陣。28日午後1時25分、東京・赤坂